

資料収集の基本的な考え方

平成 18 年 11 月 30 日

文化課郷土博物館

1 基本的枠組み

足立区および足立区を包括する概念を持つ歴史的民俗的地域※1に関する資料※2および関連資料の収集、保存を行う。とりわけ活動テーマである「江戸東京の東郊」に関しては重点的に収集を行う。

※1 歴史上の支配・行政区分において近世における武蔵東部。近代の東京府東部郡部および埼玉県東部。地理上の旧利根川河川下流域、低湿地、新田地帯など個々の事象によって地域は変動する。

※2 資料は博物館法第3条第1項第1号に示された資料を中心とする実物資料および模型等復元資料、図書資料、聞き取り調査等の記録保存資料などをさす。

2 分野と対象

(1) 歴史分野

古文書、古典籍、書画、写真、映像、聞き取り記録など

(2) 民俗分野

古民具その他の民俗資料および情報および地口絵紙、石造物など

(3) 既存コレクション関係

浮世絵

(4) その他

上記に隣接する諸資料

3 想定される資料所在地

(1) 個人および団体

区内個人、旧区内在住の区外在住の個人、区内町会・自治会および区内外の企業など

(2) 市 場

古書店市場および企業、団体等

(3) その他

(1)、(2) 以外の資料所有者